



横手市

社協だより

No.8 2007.9.15

発行：横手市社会福祉協議会

平鹿中学生徒が自分たちで
できることを発見・実感



地域のためにお手伝い

▲猛暑の中、浅舞公園内で花鉢や花壇への水やり作業

▼平鹿町ゆとり館で幼児検診の雰囲気を感じる



▲下鍋倉保育所で園児たちと交流





10月1日から

赤い羽根共同募金運動がはじまります。

①「赤い羽根共同募金」は民間の募金活動であることを知っていますか？

共同募金会は民間団体！

赤い羽根共同募金は、国や市町村のような自治体が行っているものではありません。「共同募金会」という民間の団体によって行われている募金活動です。

例えば自治体が主体となって定額を集めるとすると、この募金は税金として、全国津々浦々どこでも同じ基準で公平に使われる（配分）こととなります。

それに対して民間の募金は、その地域の実情にそった柔軟な使われ方ができるという特徴を持っています。

「共同募金会」以外は共同募金を行ってはならないと法律で決められています。
募金活動を行い、また配分を行うのは、各都道府県の「共同募金会」です。

②「赤い羽根共同募金」は社会福祉の資金として使われます。

集まったお金はどこに配分されるの？

広域的（秋田県内）には、社会福祉施設や県域で活動している団体に対し配分されています。市町村（横手市）には、社会福祉協議会や小地域の福祉活動団体、NPOなどに配分されています。

どちらの場合も、事前に配分のための申請書の提出が必要です。税金を使って行われることが難しくなっている福祉事業や福祉サービスの活動の中で、地域の実情にあった活動に対し配分されています。

みなさんの身近なところで、体の不自由な方や高齢者など手助けを必要とする方が暮らしています。赤い羽根共同募金は、そうした支援を必要とする方々のための募金です。「誰かのために役に立ちたい」というみなさんの助け合いの気持ちを寄せてください。

③善意の寄付なのに、なぜ目標額があるの？

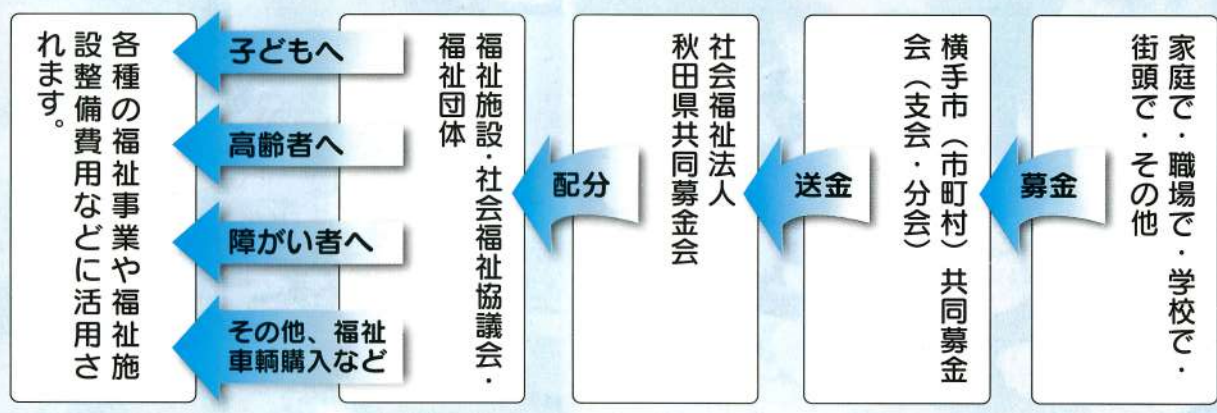
共同募金は「計画募金」です。

共同募金は、集まったお金を特定のところに単純に配分しているわけではなく、県内の社会福祉施設や福祉団体、市町村においては、社協などの福祉団体から事前に活動資金の申請をしていただき、それをもとに目標額を定めているのです。

各世帯などに募金をお願いする際の額は、あくまでも目安です。で、応分のご寄付をいただければ結構です。

この目標額（平成19年度必要額）は、秋田県全体で2億1842万3千円、横手市においては1680万9千円です。
これをおよそ世帯数で割ったものを目安額（600円）にしています。

共同募金の流れ方



県内の福祉施設や地域の福祉活動に役立てるための募金として、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成19年度 赤い羽根共同募金運動

横手市目標額 **1,680万9千円**のうち

約56%に相当する9,418,000円が、来年度、秋田県共同募金会を通じて横手市社会福祉協議会に配分される予定です。

市民の福祉活動への啓発と理解を深めていただくための広報「社協だより」発行に2,142,000円



社会福祉に貢献された方々の顕彰と、市民の福祉意識を高め福祉活動への理解と参加を促進するための「社会福祉大会開催」に1,500,000円

地域の会館等で高齢者の交流と生きがいを目的に地域の人たちと協働で実施する「いきいきサロン事業」に3,456,000円

ひとり暮らし高齢者の交流とふれあいのある生活を支援するための生きがいと健康づくり事業に2,320,000円

約44%に相当する7,391,000円が、来年度、秋田県共同募金会を通じて秋田県内全体の社会福祉施設や県域で活動している福祉団体等に対する配分の一部として活用される予定です。

- 社会福祉施設の増改築・補修・備品購入のために
- 在宅福祉活動推進車輛の整備のために
- 民間の社会福祉団体等への活動助成のために
- 災害緊急見舞金(準備金)のために
- 広報・PR活動のために

平成19年度新潟県中越沖地震義援金の募集について

7月16日新潟県中越沖を震源とする地震により家屋の倒壊等の大災害が発生し、災害救援法が適用されました。新潟県共同募金会では、被災者への義援金を募集しております。秋田県共同募金会でも、被災された方々の一日も早い復興を願い、支援のための義援金を受け付けています。横手市共同募金会では横手市社会福祉協議会各福祉センター内に義援金の受付窓口を設置していますので、お知らせいたします。

- 受付期間 平成20年1月16日(水)まで
- 義援金は、秋田県共同募金会に送金し、新潟県共同募金会、新潟県、日本赤十字社新潟県支部、報道機関等で構成される義援金配分委員会で決定し被災者へ配分することになります。

問合せ先 横手市共同募金会事務局
(横手市社会福祉協議会内 電話 36-5377 まで)



平寿苑

家族や地域の方と過ごした夏のひととき 特別養護老人ホーム平寿苑夏祭り



施設内を職員が御神輿を担いで回った



深間内神楽保存会の神楽が披露された

7月31日(土)、平鹿町の特別養護老人ホーム平寿苑で、施設を利用している方と家族、ボランティアや地域の方など約250人が参加し、恒例の夏祭りを開催しました。

日中は施設内を職員が御神輿を担いで回り、夜は駐車場で焼鳥、焼きそば、金魚すくいなどのお楽しみコーナーのほか、横手市無形文化財に指定されている「深間内神楽」の披露や打ち上げ花火で会場は盛り上がり、楽しい夏のひとときを過ごしました。

車いす生活者支援講座 車いすに乗って特性や外出時の行動を理解

車いす生活者が地域で気軽に手助けしてもらうことができるように、秋田県車いす連合会県南支部(柴田純一支部長)主催の車いす生活者支援講座が7月21日(土)あさくら館で開催されました。

車いすの特性や外出時の行動などを多くの人に知ってもらうことを目的に、車いす連合会県南支部会員、高校生、ボランティア等30人が参加。

講座では、講話、意見交換、車いす体験と介助の方法について、実際に車いすに乗ったり、介助する体験をしました。参加した方は、車いすを利用している方と直接話しをしたり、自分も体験したことで車いす生活の不便さや相手の立場に立った声かけと介助の仕方学ぶことができ、よかったと感想を述べていました。



実際に車いすに乗って介助を受ける参加者

車いす使用者と参加者との意見交換



地域文化研修会 メンバー全員が全盲のアマチュアバンドが熱演

県内の視覚障がい者の相互交流を図ることを目的に、関係者や市内の中学生・高校生のボランティアなど合わせて約100人が参加し、7月28、29日の2日間、横手プラザホテルと秋田ふるさと村で研修会が開催されました。

研修会では、岩手盲学校時代のバンド仲間8人が14年前に集まり結成した全盲のアマチュアバンド「ノーティボーイズ」(腕白坊主たち)の活躍が紹介され、そのコンサートも行われました。楽譜もなければ、指揮者もない中で本格的な生演奏は参加者を魅了しました。



横手地区

めんこい子供たちと思い出づくり 境町地区世代間交流事業

境町福祉協力員会(鎌田勲一 会長)では、今年は初めての試みとして、和光保育園、相愛保育園の園児と地域のひとり暮らし高齢者、ケアハウス入居者の方々と世代間交流事業を開催し、84人が参加しました。

いすに座ってできる健康体操、園児の歌や遊戯の披露では、「めんこいな」の声と大きな拍手。また、おしゃべりをしながら園児と一緒に「オリジナルうちわ」づくりに挑戦。園児に絵を描いてもらったり、シールをはがしてもらったりみんなで協力しながらうちわを完成させました。



うちわづくりで園児たちと交流

各地域の話題から

フォトフラッシュ



増田地区

ランチバイキングを楽しむ

ひとり暮らし高齢者の集い事業

ひとり暮らしの高齢者の交流と親睦を図りふれあいのある生活を支援する昼食会を7月13日(金)増田地区の方30人が参加し、湯沢ロイヤルホテルで開催しました。

昼食前に湯沢市小野地区にある小町堂や道の駅おがち「小町の郷」を見学。バイキング形式の食事は初めてという方が多く、昼食会は、自分の好きなものを選んで食べることができ楽しかったと好評でした。

今まで遠くに出かける行事には、自分の体調が心配で参加することができなかったという方は、「今回は近場だったので参加できてよかった。また、みんなと一緒に参加したい」と次回の企画を楽しみにしていました。



小町堂(湯沢市小野)を見学



バイキング形式の昼食会

平鹿地区

地域を思いやる気持ちがきっかけに

下醍醐いきいきサロンが始まる

平鹿地区で3番目のいきいきサロンが、6月1日から下醍醐集落で始めました。地域の高齢者が気軽に参加し交流できる場所を作りたいと自治会役員や担当民生委員などの協力によってスタートしました。

初回のサロンで、斎藤純司自治会長が「この集落は、先輩である皆さんが若いときから青年会活動や地域行事を通じて地域のつながりを大切にしてきたことが今でも下の世代に受け継がれています。サロンを立ち上げることができたのも、関係者が地域を思いやる気持ちがあったからだと思います。」と挨拶。

この日は30人が参加し、役員選出、健康講話、保健師による健康チェックなどを行いました。参加者は、毎月、開催日があるのを楽しみにしています。また、後日、自治会で会館内の出入口に手すりを設置し、参加者に感謝されています。



会館で斎藤純司自治会長が参加者にあいさつ



保健師が食事前の軽運動の効果を紹介

今回は、雄物川町の博田勉さんに長生きの秘訣
などについてインタビューしました。

職員が博田さんにインタビュー

お名前 博田 勉さん
住 所 雄物川町東里



（雄風荘で建築家ゲームをしている博田さん）
博田さんは、雄風荘に来て、いろいろな人
に逢えてみんなと話ができることが一番
の楽しみだと話しています。

●博田さんの年齢を教えてください。

『95歳です。（明治45年1月2日生まれ）』

本当にお元気ですね。

●博田さんには、子供、孫、ひ孫は何人いますか。

『子供が7人、孫15人、ひ孫が5人です。』

たくさんのご家族に囲まれ楽しそうですね。

●仕事は何をしていましたか。

『農業です。』

●家に居るときの一番の楽しみは何ですか。

『家族と一緒に食事をする事です。特に正月やお盆は遠くにいる家族がみんな集まるので待ち遠しいです。食事は時間をかけてゆっくり。おかずも家族と同じものを食べています。お酒も毎晩5勺飲んでます。』

●ご自分の長生きの秘訣は何だと思いますか。

『自分の思い通りに家族が自由にやらせてくれること。』

ご家族と仲がよくていいですね。

博田さんがご家族と仲良く暮らしている様子が伺えるインタビューになりました。これからもお元気で過ごして下さい。ご協力ありがとうございました。

入場
無料



秋田わか杉大会

きっと出会える! 夢と感動 2007 第7回全国障害者スポーツ大会

お知らせ
コーナー

ボウリングの競技会場となっております台由ボウル駐車場において

特設のふれあい広場を実施します

特設のふれあい広場とは?

全国から訪れる選手・役員に県民との交流の場を提供し、広く障がい者に対する理解と認識を深めてもらいながら、秋田県らしさを実感してもらうことを目的に実施します。来場される全ての方々が、夢と感動を分かちあえる広場となるように、秋田ならではの優しいまごころでおもてなしします。ぜひ、お越しください。



【内容】

おもてなしコーナー・・・「横手やきそば」の無料提供をします。
施設作品販売コーナー・・・授産施設や作業所等で作られた作品展示のほか、スギッチグッズやお土産品を販売します。

会 場 台由ボウル駐車場(横手市安田綱手添31)
期 日 10月13日(土) 14:00~18:00(予定)
14日(日) 10:00~16:00
主 催 横手市社会福祉協議会

※期間中は、大会運営の関係上、正面及び北側の駐車場はご利用できません。会場係員の案内に従い、会場裏の仮設駐車場をご利用していただくことになります。

～秋田県平鹿地域振興局福祉環境部からのお知らせ～

自殺予防 いのちの電話

ひとりで悩まないで、
こころの苦しみをお話してください。

2007年9月10日(国際自殺予防デー)から
2008年3月の毎月10日は、フリーダイヤル

こころ
0120-738-556

9月10日より毎月10日

8:00~翌日8:00(24時間・無料です)

主催：社会福祉法人 いのちの電話
後援：厚生労働省

「あきたいのちのケアセンター」が 8月1日に開設しました



あきたいのちのケアセンターが
秋田県精神保健福祉センター内に開設しました。

- ◆「あきたいのちのケアセンター」では、
- ・自死遺族や心に悩みを持つ方などの相談のほか、医療機関やグリーンケアを实践している団体等の情報を提供します。
- ・相談は、面接による相談、電話による相談ができます。
- ・相談者のプライバシーは守ります。

- ◆相談は、
- ・「精神保健福祉士」(3名)等の資格を持つ職員が対応します。

◆電話番号は

0120-735256です。

かいご通信 (第2回)

「認知症」って なあに?

●認知症は身近な病気
です。

認知症は加齢によるものとして見過ごされがちですが、脳の障害によって起こる病気です。「もの忘れがひどい」「言葉が出てこない」などいくつかの症状が現れ、日常生活や社会生活に差し支わりが出てくる状態をいいます。

●早期発見・早期治療
が大切!

認知症を放っておくと、症状をどんどん悪化させてしまいます。早期に治療すれば進行をゆるやかにすることができ、本人の生活をよく知る主治医か専門医(医療機関の精神科・神経内科など)に相談しましょう。地域の保健師や保健所

認知症のお年寄りの症状・行動

事実の誤り(現実のとり違い)
財布などを盗られたと疑う
実際に存在しないものが見えたり聞こえたりする
人をとりちがえるなど

事実の誤り(現実のとり違い)に対する対応の原則
・否定しないこと(逆らわない)
・話題・場面をかえ、関心をそらせる
・お年寄りの認識に合わせる

失敗行動
失禁
徘徊
不潔行動
など

失敗行動に対する対応の原則
・叱らない、説教しないこと(禁句)「ダメじゃない」「いけません」
・失敗しないような状況(環境)をつくる
・行動の動機や背景を考え、それを見守る

●認知症のお年寄りとの接し方
認知症のお年寄りの症状や行動は個人差もありさまざまですが、次の表のように大きく2つの特性に分けられ、このような考え方をもちに具体的な症状・行動についての対処法が示されています。
などの相談窓口を利用するのもよいでしょう。

平成19年度 横手市社会福祉大会が開催されます。

「水戸黄門」の“うっかり八兵衛”、「どんど晴れ」の“加賀美屋の番頭”役でおなじみの 高橋元太郎氏を講師に迎えて……。



日 時 10月31日(水) 午後1時30分から

場 所 秋田ふるさと村ドーム劇場

主 催 横手市社会福祉協議会

参加対象 一般市民・福祉関係者

内 容 式典、表彰、講演

講演内容 講師 高橋元太郎氏(俳優)

演題 『うっかり八兵衛の元気になる話』

「水戸黄門」のエピソード話を交えながら、家族とのふれあい、ボランティア活動など人々との出会いの尊さなどについて語ります。「こんな考え方、生き方もあるのか」と元気になる内容を予定しています。

※詳細については、事務局にお問い合わせください。

(横手市社会福祉協議会内 TEL 36-5377)

多くのみなさんのご参加をお待ちしております。

善意 ありがとうございます
ごさいます

(平成19年5月1日~7月31日受付分)

※広報発行回数が年4回となりますので、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

【横手福祉センター受付】

- ・永井 多鶴子様 (南町)
- ・健友館 横手整体院様 (南町)
- ・大森 良一様 (本郷町)
- ・木母 孝様 (猪岡)
- ・和賀 卓様 (大屋新町)
- ・スーパーマーケットよねや様 (鍛冶町)
- ・千葉 康雄様 (神明町)
- ・尾張 行雄様 (鍛冶町)
- ・JPBDA 東北総局秋田県支局様
- ・高山 悦郎様 (赤坂)
- ・三梨 良輔様 (南町)
- ・湯田高原カントリークラブ様 (岩手県)
- ・和賀 冬吉様 (城南町)
- ・鎌田 敦様 (安本)

- ・大坂 茂様 (横手町)

【増田福祉センター受付】

- ・古川 ミネ様 (さいたま市)
- ・櫻井 アヤ様 (本町)
- ・加賀屋 実様 (四ツ谷)

【平鹿福祉センター受付】

- ・根岸 均様 (覚町上)
- ・見上 益子様 (城戸)
- ・柿崎 晃治様 (覚町上)
- ・小松 莊二様 (覚町下)
- ・平鹿町ダンス愛好会代表 小松晃一様
- ・スーパーマーケットよねや 浅舞店様
- ・県立平成高等学校家庭クラブ様

【雄物川福祉センター受付】

- ・佐藤 勉様 (東里三)
- ・小松 キエ様 (中島)
- ・佐藤 孝司様 (下開南)
- ・スーパーマーケットよねや浅舞店様 (平鹿町)
- ・渡部 孝一様 (常野)
- ・小野 悟様 (荒町下)
- ・橋本 啓子様 (秋田市)
- ・竹内 敏彦様 (館小路)
- ・佐藤 豊様 (東里一)

【大森福祉センター受付】

- ・備前 愛子様 (八日町3)
- ・守屋 松雄様 (前田)

【十文字福祉センター受付】

- ・斎藤 大様 (本町)
- ・手作りエトセトラ様
- ・長江 タツ様 (栄町)
- ・故内藤静子様ご家族様 (新佐吉開)
- ・エアポートゴルフコンペ参加者一同様
- ・佐藤 トク様 (上仁井田)
- ・菅原 アヤ子様 (旭団地)

【山内福祉センター受付】

- ・高橋 一子様 (土淵)
- ・川越 正利様 (平野沢)
- ・小林 良一様 (土淵)
- ・山田 新恵様 (土淵)

【大雄福祉センター受付】

- ・佐々木 光雄様 (四津屋)
- ・大屋敷 洋子様 (精兵村)
- ・照井 寛様 (西丁)
- ・小棚木 健治様 (折橋)
- ・奥山 タエ様 (六丁)
- ・住友生命横手まくら支部様 (横手市前郷)

●横手市社協だより

No.8 2007.9.15号

発行：横手市社会福祉協議会

〒013-0022 横手市四日町3番23号

TEL 0182-36-5377 FAX 0182-36-5388

E-mail syakyou5@agate.plala.or.jp